

**【分科会記録】第 1 1 分科会**

（参加人数 19 人）

分科会テーマ	学校図書館運営の実際 共につくる本との出会い
司会	牧 知慶（加賀市東和中学校）
記録	樋本めぐみ（長野市立北部中学校）

**1 発表の概要**

(1) 伊嶋亜紀子先生（小松市丸内小学校）

『良書を身近に感じられる環境を目指して』

問題：図書館を利用する生徒数・時間数と貸出冊数の減少

解決策：移動図書館の設置

- ・生徒会図書委員会が主催で玄関ホールにて 「プチ図書館」
- ・モニターで新刊案内や図書館情報を放映
- ・ホワイトボードで新聞記事やおすすめ本などの掲示
- ・掲示物が折り紙等で装飾物を作成

問題：読書傾向の変化

解決策：チャットやアンケートツールを用いた図書館と生徒とのつながりの創出

- ・Teams や Foams で貸出予約・図書館への要望など
- ・学校図書館のチャンネル作成

◎ 良書に触れる・良書を手にする機会の増加

◎ 生徒会活動の活性化

▲ 貸出冊数は増加せず

→ 対策：QR コードを本と共に置くことで、タブレットで貸出ができるようにした

▲ タブレットの変更による、手間の増加

→ 対策：学習用ポータルサイトを作成中

質疑応答

なし

(2) 大工原 司（上田市神科小学校）

『「読書へのアニメーション」を活用した国語の授業の実践』

目的：児童の読書意欲の向上 物語の理解深化 主体的・対話的な学びへの貢献

具体策：「アニメーション」の導入

- ・国語の授業にて
- ・本や文章を読んだ後に、クイズなどの活動を取り入れる
  - （例）一文を抜き出したカードの並べ替え
    - ・初めて読む文章で、文章構成の把握の際に使える
  - （例）わざと間違った文章を読む
    - ・記憶していた児童は、小さな間違いにも気づける
  - （例）登場人物になりきって、インタビューに答える
    - ・心情読解の深化

◎ 場面把握能力の向上

質疑応答

- ・国語の授業で、「アニメーション」を使うのは導入の場面か？
  - 作品との出会いに使う
  - 全体把握をする効果がある
- ・今回の発表で扱った「100万回生きたねこ」は何年生を想定しているか？
  - 小学生だったら、何年生でもできると考えている
- ・評価方法の工夫
  - 場面の理解度で。単発ではなく継続的に行うことで、比較ができるようになる。

(3) 渡部 真人（胎内市中条中学校）

『「ビブリオバトル」を通じた表現活動の充実と読書習慣の定着』

目的：効率よく、生徒に「話す力」「聞く力」を定着させる

具体策：「ビブリオバトル」の導入

- ・間接的な戦いとなる
- ・盛り上がりの条件
  - ① ほれ込んだ本を選定
  - ② 対話型（聴衆への投げかけ）
  - ③ 付加価値の紹介（この本を読むとこんなプラスの効果がある）

◎個人のことを語る場ではない→取り組みやすい

◎チャンプ本に選ばれることの喜び（優越感・自己有用感）

→ 個人の性格の変容をもたらすこともある

質疑応答

・選書の際、読書嫌いの生徒への対応は？

→ 期間を十分にとる。2～3カ月前から告知

・票の入らない生徒への配慮

→ 結果（票数）を気にしなくてよい と伝える

→ 人間関係で投票するのは禁止 「読みたい本」に一票を

→ ルールの明確化が重要

(4) 小出奈穂子（富山県富山東高校）

『豊かな言語活動と集団読書の効果的な関連を目指した「読書会」について』

目的：読書を学力の向上と社会性の構築につなげる

具体策：「読書会」の開催

- ・本を読むことが好きな人が集まる
    - メリット：楽しさ
    - デメリット：なし
  - ・学校教育に取り入れ、生徒の日常に反映させていく
  
  - ・読書会選定テキスト（課題図書）は職員が選定
  - ・図書委員が進行
  - ・マナーの明確化と浸透がポイント
    - 「安心して本について語れる」「他の参加者の意見を否定しない」
  - ・朝日新聞「読書は何の役に立つのか？」
    - しっかりとした自分の価値観の土台を作る
    - さまざまな生き方を知ることで選択肢が広がる
- ◎ 内容を批判的にみる態度が養われる
- ◎ 自分と他人の本の読み進め方・解釈の仕方の違いに気づける

質疑応答

- ・読書感想文の現状（発表者より、各校の取り組みを聞きたいとの申し出あり）
    - 問題点：生成 AI の利用・インターネット情報のコピーあり
    - 生成 AI の活用の仕方を考える
      - STEP1 自分の価値観や意見といった土台を創る
      - STEP2 意図や目的をもって AI を使う
- （例）より論理的にまとめる・誤字脱字を直す

2 討議の概要

討議なし